





# 目と手の協応

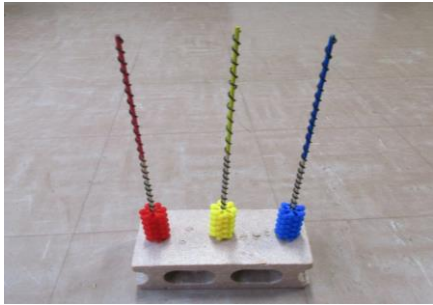
小学部1年	ほぼ買ったままプットイン	目と手の協応
教材教具の紹介	ほぼ買ったままプットイン 100円均一でそろそろ材料をほぼ加工なしで教材にすることを旨としたプットイン教材です。	使 っ て る 材 料 例 
使い方 (使用時の注意)	チャック付き袋にプットイン教材と受け皿をまとめておき、児童は袋からそれらを取り出す。終了後はまた袋に戻す。	
おすすめポイント どんな力がつくか	手指の巧緻性（つまむ）、目と手の協応 注視等	
太田ステージ	ステージⅠ	


小学部3年	玉ひも	目と手の協応
教材教具の紹介	穴の開いた木の玉に色をつけて太目の紐を通して作成した。適度な力で玉を移動させやすいようにした。	
使い方 (使用時の注意)	教員が紐を持ち、数順を言いながら児童が一つずつ玉を移動させる。その際に玉がぶつかり合ってカチとなる所が終点となるようにする。	
おすすめポイント どんな力がつくか	始点と終点の理解。数順。視線。指示理解。	
太田ステージ	ステージⅠ	

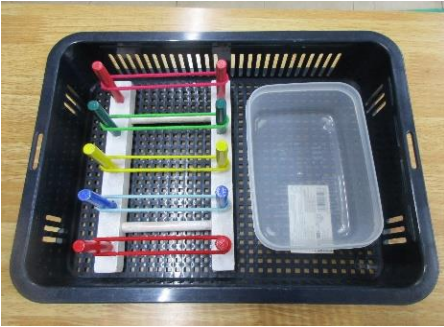
小学部3年	「数字のフックかけ」	目と手の協応
教材教具の紹介	数字をマッチングしながらフックかけの練習ができます	
使い方 (使用時の注意)	数字なしでフックだけの練習にしたり、色のマッチングにしたり、ねらいによって様々なバリエーションができます。力の調整が難しい実態の場合は、台をしっかりと固定する必要があります。	
おすすめポイント どんな力がつくか	数字マッチング、手指の巧緻性、目と手の協応	
太田ステージ	ステージⅡ	


小学部4学年	プットイン自立課題	目と手の協応
教材教具の紹介	プットインが慣れてきたお子さんに。片手で持ってもう片手でひとつずつボールをとってプットインができるので、ひとりで課題ができる練習になります。仕切りもひとつずつボールがとりやすい大きさにしました。	
使い方 (使用時の注意)	ボールをひとつずつとれるように仕切りにひとつずつ入れておきます。	
おすすめポイント どんな力がつくか	注視、握る・入れる力・手と目の協応性	
太田ステージ	ステージⅠ	

# 目と手の協応


小学部4年	色分けくるくる落とし	目と手の協応
教材教具の紹介	針金を巻いた丸棒にミニフラワーブロックを通す教材です。	
使い方 (使用時の注意)	右利きのお子さんなら右側にフラワーブロックの入ったカゴを置きます。全部通したら、そのカゴの上でこの教材をさかさまにすると、くるくる回りながらカゴに落ちていく様子が楽しいです。	
おすすめポイント どんな力がつか	目と手の協応、色分け、手指の巧緻性	
太田ステージ	ステージⅠ	


小学部5年	色の弁別とスプーンの操作	目と手の協応
教材教具の紹介	5色の色の弁別を行うと同時に、スプーンの持ち方や操作性の訓練を行うことができる。	
使い方 (使用時の注意)	スプーンを正しい持ち方で持ち、スポンジを一つずつすくい上げ、同じ色の所に入れる。スプーンの操作性が上がってきたら、利き手とは逆手で容器を持ち、器を持って操作する練習をすることができる。	
おすすめポイント どんな力がつか	色の弁別とスプーンの操作性を同時に練習することができる。また、製氷機の大きさを変えることで難易度を調整することができる。	
太田ステージ	ステージⅠ	

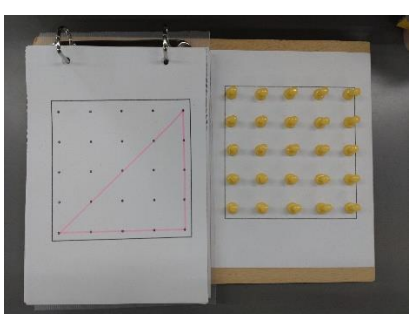
小学部6年	5色のゴムかけ	目と手の協応
教材教具の紹介	5色のヘアゴムをその色に応じた突起にひっかけていく。自立課題の一つとして使用している。	
使い方 (使用時の注意)	ゴムは容器に入れた状態で児童に提供する。必要に応じて、輪ゴムを指先で持たせる支援をする。	
おすすめポイント どんな力がつか	<ul style="list-style-type: none"> <li>色の分類</li> <li>ヘアゴムを持つ・ひっかける (指先の動作)</li> </ul>	
太田ステージ	ステージⅠ	


中学部1年	色分け洗濯ばさみ	目と手の協応
教材教具の紹介	貼れるパネルを使用した色札のため、厚みがあります。しっかり開かないと挟むことができません。	
使い方 (使用時の注意)	実態に応じて、挟むことに加えて色分けも行うことができます。挟んだ後はかごに入れていきます。色分けでは、色ごとに並べ、慣れてきたらランダムに並べていきます。	
おすすめポイント どんな力がつか	手指の巧緻性 (つまむ)、両手を使用した活動の経験、色の分別	
太田ステージ	ステージⅠ	

# 目と手の協応

中学部2年	1対1の対応BOX	目と手の協応
教材教具の紹介	ケースのマス1つ1つに蓋があります。フェルトボールを1つ入れたら蓋をするという動作を行うことで、1対1の対応が理解しやすくなります。マス1つ1つに色を示すことによって、色のマッチングができます。ケースの下に色の見本を敷くことで、様々なパターンを用意し取り組むことができるようにしました。	
使い方 (使用時の注意)	まず、ケースの蓋を開けます。次に1つのマスに1個のフェルトボールを入れます。フェルトボールを入れたら蓋を閉めます。繰り返し行い全てのマスにフェルトボールが入れば完了です。フェルトボールは、指でつまんだり箸等を使ったりして、実態に応じて課題を変えることができます。	
おすすめポイント どんな力がつくか	1対1の対応 色の弁別 指の巧緻性 目と手の協応	
太田ステージ	ステージ I	


中学部3年		目と手の協応
教材教具の紹介	「3×3」(赤・青・黄・緑)のサイコロを振る。その画面を見て、同じ図(模様)を作るモノ。 「5×5」(上記同様の色)が配置されている。ひとマスのみ空いている。各色のブロックを上下左右に動かして、「3×3」で出た画面と同じモノを作る。 ※実際触って、動かしてみてください。	
使い方 (使用時の注意)	上記参照	
おすすめポイント どんな力がつくか	認知力	
太田ステージ		


高等部1年	輪ゴムかけ(構成)	目と手の協応
教材教具の紹介	左側の見本と同じに構成するように、右側の画紙に輪ゴムをかけます。	
使い方 (使用時の注意)	慣れてきたら、左側の見本のペンを2色以上使い、いくつか形を作っておく。輪ゴムも数色用意し、見本と同じ色で複数個の形を構成できるようにする。	
おすすめポイント どんな力がつくか	目と手の協応、注視 手指の巧緻性(つまむ)	
太田ステージ	ステージ II	


高等部1年	マッチング	目と手の協応
教材教具の紹介	chromebookのスライドアプリの中に配置の違う画像を複数枚入れておくことで毎回違う見本で取り組むことができます。	
使い方 (使用時の注意)	chromebookで提示された見本を見ながら取り組みます。そして爪楊枝を親指と人差し指でつまみながら小さな穴に見本通りに入れていきます。	
おすすめポイント どんな力がつくか	手指の巧緻性(つまむ)、目と手の協応 注視	
太田ステージ	ステージ II	



# 目と手の協応

高等部2年	箸トレーニング	目と手の協応
教材教具の紹介	箸でビーズをつかみ、色分けをする教材です。星形のビーズは箸が引っ掛かりやすい角が多く、比較的容易につかむことができます。トレイは、ゴム製の突起が付いたものを使用し、ビーズの滑りを少なくしています。	
使い方 (使用時の注意)	箸は子どもが使用している段階の食具に変更したり、ビーズの大きさや形状を変更したりして、実態に合わせて設定します。	
おすすめポイント どんな力がつくか	手指の巧緻性、目と手の協応	
太田ステージ	ステージⅡ	

高等部3年	「靴ひも結び」	目と手の協応
教材教具の紹介	靴ひもを結ぶイメージを持つため、靴の形を段ボールで作り、蝶々結びに取り組めるようにしました。	
使い方 (使用時の注意)	蝶々結びをするための練習ができます。児童・生徒の実態に合わせて固定などすると使いやすいと思います。	
おすすめポイント どんな力がつくか	目と手の協応 手指の巧緻性を高める	
太田ステージ	ステージⅢ-2	

高等部3年	おはじきプットイン	目と手の協応
教材教具の紹介	2つのねらいを持たせた教材です。 ①手指の巧緻性を養う ②色分けする	
使い方 (使用時の注意)	おはじきを摘み、おはじきの色に対応したタッパーにマッチングさせながら入れます。取り組みにあたって、最初から3色混ぜるのではなく、段階的に取り組めるようにセットします。 ①単色で行う ②単色での実施が達成したら、3色混ぜる	
おすすめポイント どんな力がつくか	手指の巧緻性（つまむ）、目と手の協応 注視	
太田ステージ	ステージⅠ	